

○Webを活用したホットラインについて

- ・令和3年6月の国土交通省防災・減災対策本部(第4回)会議では、Webホットラインの導入等による流域全体の情報共有を重点推進施策に位置付け。
- ・「烏・神流川流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 幹事会」では、令和4年1月からWebを活用したホットラインの検討に着手し、第8回協議会(令和4年5月)において「Webを活用したホットライン運用方針(案)」について報告。
- ・運用方針(案)の内容を踏まえ、令和4年7月、10月にWebを活用したホットライン訓練を実施。
- ・令和5年3月の第9回協議会において、訓練結果や関係機関との意見交換等を踏まえて更新した運用方針(案)について報告。

【Webを活用したホットラインに関する既往の経緯】

主体	時期	既往の経緯
国土交通省	令和3年6月	・防災・減災対策本部(第4回)会議において、流域タイムラインの作成やWebホットラインの導入等による流域全体での情報共有等が重点推進施策に位置付け
烏・神流川流域 減災対策協議会 幹事会	令和4年1月	・Webを活用したホットラインの検討に着手
	令和4年5月	・第8回協議会において、Webを活用したホットライン運用方針(案)等について報告
	令和4年7月、10月	・Webを活用したホットライン訓練を実施(2回)
	令和5年3月	・第9回協議会において、訓練結果やWebを活用したホットライン運用方針(案)の更新結果等について報告

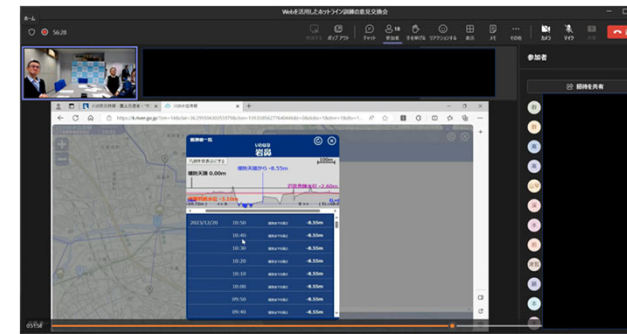
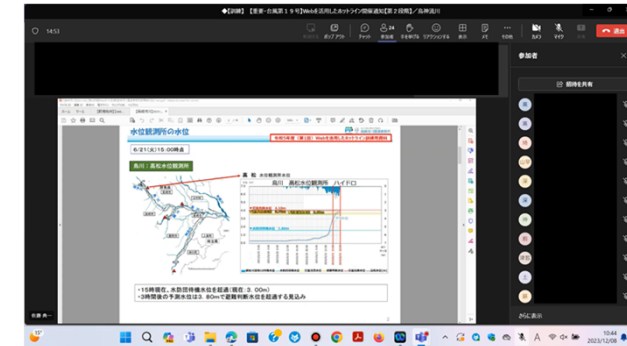
令和5年度の「Webを活用したホットライン」の取組について

○令和5年度の取組について

- ・令和5年度は、台風第7号、台風第13号を対象に、Webを活用したホットライン(第1段階)を初めて運用。
- ・出水期後にWebを活用したホットライン訓練(第1段階、第2段階)を行い、習熟度の向上や情報共有内容の改善を図った。
- ・上記の訓練結果に関する意見交換会を開催し、参加機関と課題・対応策等に関する協議を実施。
- ・訓練や意見交換会等の結果を踏まえて「Webを活用したホットライン運用方針(案)」を更新。

【Webを活用したホットライン訓練等の実施時期・概要】

実施時期	実施内容		概要
令和5年 8月	実運用	■ 台風第7号におけるWebを活用したホットライン(第1段階)	● 台風第7号でのWebを活用したホットラインの運用
令和5年 9月	実運用	■ 台風第13号におけるWebを活用したホットライン(第1段階)	● 台風第13号でのWebを活用したホットラインの運用
令和5年 12月	訓練	■ Webを活用したホットライン訓練	● Webを活用したホットラインの基本的な手順等の確認 ※第1段階、第2段階それぞれの訓練を実施 ・開催通知メールの送付・受信 ・Web会議の開催(各機関からの模擬報告) ・振り返り、アンケート実施
令和5年 12月	意見交換会	■ Webを活用したホットライン訓練に関する意見交換会	● 訓練に関する振り返り・意見交換を実施 ・訓練結果、アンケート結果の報告 ・意見交換



烏川・神流川流域におけるWebを活用したホットライン訓練及び意見交換会の様子

○台風第7号、台風第13号における実運用について【前橋地方気象台】

・令和5年度の台風第7号、台風第13号におけるWebを活用したホットラインでは、前橋地方気象台から、「台風予報」「実況・予想天気図と気象衛星画像」「雨、風の量的予想」「情報の入手先」等に関する情報共有や注意喚起を実施。

【会議資料(一部抜粋)】

令和5年台風第7号の今後の見通しについて

令和5年8月10日 11時00分現在 前橋地方気象台

1

見通しとポイント

前橋地方気象台 令和5年8月10日 11時00分現在資料

- 台風第7号は、10日9時には父島(小笠原諸島)の南東約280キロにあって、1時間におよそ15キロの速さで西へ進んでいます。
- 今後、台風は発達しながら小笠原諸島に接近した後、日本の南海上を北西に進み、15日頃にかけて、暴風域を伴って強い勢力で東日本や西日本に近づくとおそれがあります。
- 台風の予報円が大きいことでも示されているように、現状では予想に不確実性が伴いますが、群馬県に影響を及ぼすおそれがあり、台風の進路によっては14日以降、警報級の大雨、暴風となるおそれがあります。
- **人の動きが大きい、お盆の時期に台風が接近することが見込まれます。**
- 今後の台風情報や、警報・注意報など、最新の防災気象情報に留意をお願いします。

2

台風第7号の台風予報

前橋地方気象台 令和5年8月10日 11時00分現在資料

台風予報 10日09時

➢ 今後、日本の東の高気圧は勢力を徐々に弱める予想となっており、台風は日本の南海上を北西に進み、15日頃にかけて、暴風域を伴って強い勢力で東日本や西日本に近づくとおそれがあります。

4

実況・予想天気図と気象衛星画像

前橋地方気象台 令和5年9月7日 12時00分現在資料

地上天気図 9月7日09時の実況

気象衛星画像 (可視画像) 9月7日09時

地上天気図 9月7日21時の予想

- 千島近海には低気圧があって、低気圧から前線が関東南岸にのびています。また、台風第13号が日本の南を北北東へ進んでいます。
- 台風第13号は、7日09時現在において、中心気圧は998hPa、中心付近の最大風速は18メートルで、気象衛星画像からわかるように、台風の雲域は比較的小さい形状をしています。
- 今後、関東南岸にのびている前線は消滅し、台風に伴う暖かく湿った空気の流れ込みが次第に強まるとみられます。

3

雨、風の量的予想 (7日12時予報時点)

前橋地方気象台 令和5年9月7日 12時00分現在資料

雨の予想(いずれも、多い所で)

観測所	7日				8日			
	12-18	18-24	00-06	06-12	12-24	00-06	06-12	12-24
大雨	155zT	155zT	20	40	50	[中]	-	-
1時間最大	25zT	25zT	30	60	70	-	-	-
24時間最大	150zP-5200							
暴風域	9zT	9zT	9zT	9zT	9zT	-	-	-

➢ 南部、北部ともに、8日昼前～夜遅くにかけて、1時間30ミリ以上の激しい雨の降る所があり、特に、降水のピークとなる8日昼過ぎ(12～15時)～夕方(15～18時)においては、1時間50ミリの非常に激しい雨が降る所があると見込んでいます。

24時間降水量

7日12時～8日12時	7日12時～8日12時	8日12時～9日12時
南部 70ミリ	100から200ミリ	100から200ミリ
北部 70ミリ	100から200ミリ	100から200ミリ

6

(最後に) 情報の入手先など

前橋地方気象台 令和5年9月7日 12時00分現在資料

★気象情報等は、最新のものをご利用ください。

- ・台風情報 <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>
- ・群馬県の警報、注意報 https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area_type=offices&area_code=100000
- ・群馬県の気象情報 https://www.jma.go.jp/bosai/information/#area_type=offices&area_code=100000&format=table
- ・雨雲の動き (降水ナウキャスト) <https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>
- ・指定河川洪水予報 https://www.jma.go.jp/bosai/flood/#area_type=offices&area_code=100000
- ・各種のキキル (危険度分布) もご利用ください。
土砂 <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>
浸水 <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>
洪水 <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>

8

令和5年度の「Webを活用したホットライン」の取組について

〇台風第7号、台風第13号における実運用について【高崎河川国道事務所】

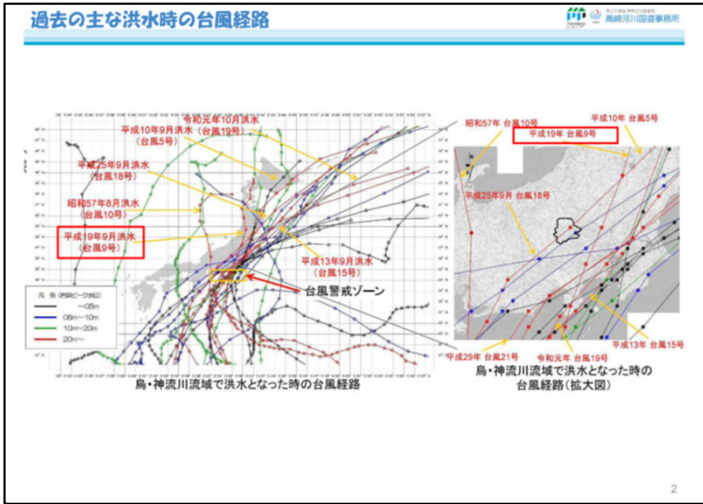
・高崎河川国道事務所からは、「過去の主な洪水時の台風経路や被害」「降雨量と基準観測所水位との関係」「河川水位の上昇例」「情報の入手先」「流域タイムライン」等に関する情報共有や注意喚起を実施。

【会議資料(一部抜粋)】

令和5年8月10日 高崎河川国道 Web会議録

鳥・神流川流域大規模氾濫に関する減災対策協議会
台風7号に伴うWebを活用したホットライン【第1段階(事前)】

令和5年8月10日(木)
国土交通省 高崎河川国道事務所



鳥川・神流川流域における近年の洪水と被害

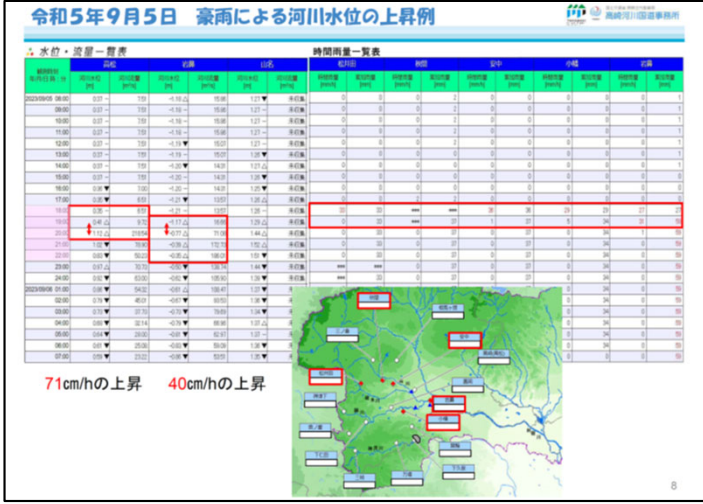
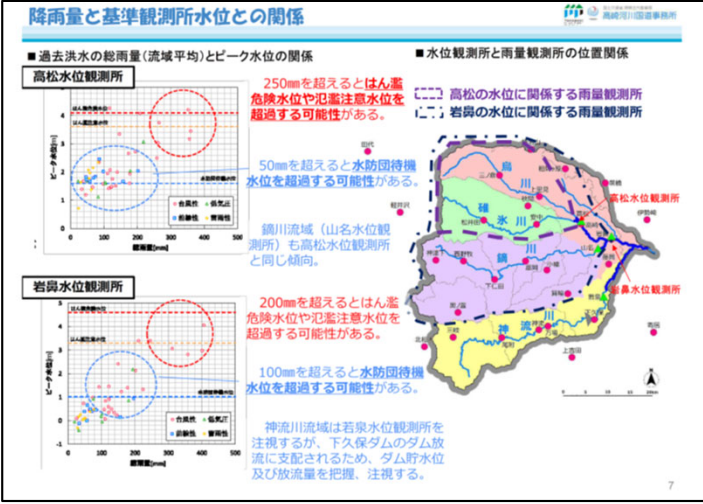
代表的な洪水と被害状況

洪水発生年	原因	降雨状況	被害状況
S22.9	カスリーン台風 (台風第11号)	鳥川流域の三ノ倉で総雨量 416mm を記録した。	河川被害: 堤防の決壊(鳥川1箇所) 約242m 一般被害: (高崎市) 流出家数21戸、床上浸水484戸、死者2名
S57.7	台風第10号	鳥川流域の三ノ倉で総雨量 303mm 神流川流域の方で総雨量 233mm を記録した。	河川被害: 鳥川2箇所、神流川1箇所 一般被害: (高崎市) 浸水家数224、床上浸水1戸(鳥川)
H10.9	台風第5号	鳥川流域の三ノ倉で総雨量 186mm 神流川流域の方で総雨量 212mm を記録した。	河川被害: 鳥川1箇所、神流川1箇所 一般被害: (高崎市) 浸水家数204、床上浸水1戸(鳥川)
H19.9	台風第9号	鳥川流域の三ノ倉で総雨量 276mm 神流川流域の方で総雨量 522mm 鎌川流域の下七郎で総雨量 323mm を記録した。	河川被害: 鳥川4箇所、神流川1箇所、鎌川1箇所 一般被害: (高崎市) 浸水家数84(鳥川・鎌川合流部)
R1.10	東日本台風 (台風第19号)	鳥川流域の三ノ倉で総雨量 241mm 鎌川流域の下七郎で総雨量 627mm を記録した。 下記では、観測史上最大の雨量を記録。	河川被害: 鳥川3箇所、鎌川1箇所

令和元年9月 東日本台風
高崎市内小池地先浸水

昭和27年9月 カスリーン台風
堤防(村: 五村町)五科地先堤防決壊

平成10年9月 台風第5号
高崎市内久津地先浸水



令和5年度の「Webを活用したホットライン」の取組について

○「Webを活用したホットライン訓練」の概要・結果について(1/2)

■開催概要

- ・Webホットライン運用方針(案)における第1段階、第2段階の「Webを活用したホットライン」に関する訓練として、開催通知メールの送信・受信、各機関からの模擬報告の一連の流れを確認。
- ・訓練後に意見交換及びアンケートを実施。

■日時

令和5年12月8日(金)9:30~11:30

■訓練内容

(1) 第1段階のWebを活用したホットライン

- ・第1段階の会議の開催通知メールの送付と各機関での受信
- ・第1段階のWeb会議開催(高崎河川国道事務所、前橋地方气象台、下久保ダムからの模擬報告)

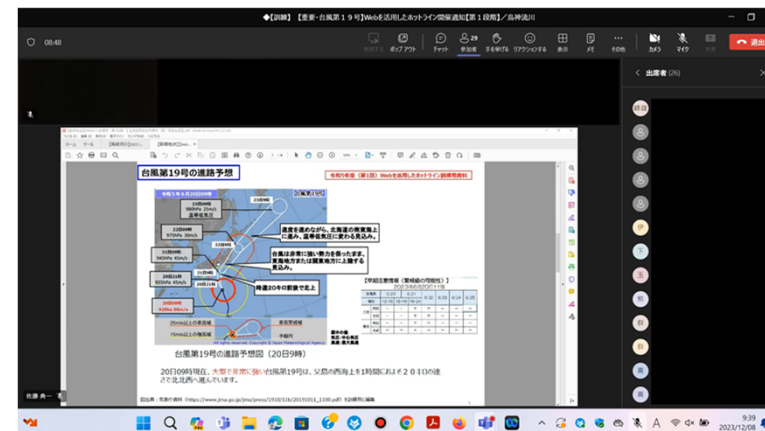
※会議終了後、Web会議を切断(画面共有した資料の共有)

(2) 第2段階のWebを活用したホットライン

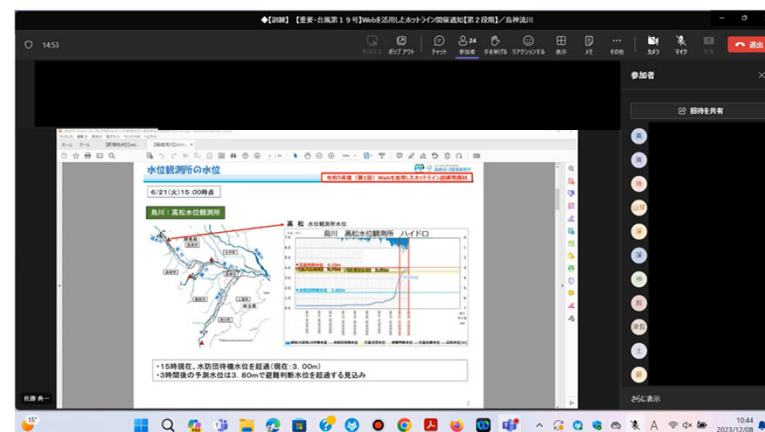
- ・第2段階の会議の開催通知メールの送付と各機関での受信
- ・第2段階のWeb会議開催(訓練のため指名した機関からの模擬報告)

(3) 意見交換等

- ・訓練の振り返り(意見交換)
- ・アンケート、意見交換会の連絡 等



Webを活用したホットラインの様子(第1段階)



Webを活用したホットラインの様子(第2段階)

○「Webを活用したホットライン訓練」の概要・結果について(2/2)

■対象機関

前橋地方気象台	藤岡市 総務部 地域安全課	東日本旅客鉄道株式会社
熊谷地方気象台	玉村町 環境安全課	上信電鉄株式会社
下久保ダム管理所	神川町 防災環境課	伊勢崎市 総務部 安心安全課
群馬県 県土整備部 河川課	上里町 暮らし安全課	本庄市 市民生活部 危機管理課
群馬県 総務部 危機管理課	群馬県 高崎土木事務所	本庄市 都市整備部 道路管理課
埼玉県 県土整備部 河川砂防課	群馬県 藤岡土木事務所	深谷市 総務部 総務防災課
埼玉県 危機管理防災部 災害対策課	群馬県 伊勢崎土木事務所	深谷市 都市整備部 道路河川課
高崎市 総務部 防災安全課	埼玉県 本庄県土整備事務所	高崎河川国道事務所
高崎市 建設部 土木課		

■主な情報共有の内容

第1段階	第2段階
<p>【前橋地方気象台】 台風の状況、降雨量予測</p> <p>【高崎河川国道事務所】 過去の被害、降雨量と水位の関係等</p> <p>【下久保ダム管理所】 今後の見込み(防災体制、事前放流等)</p>	<p>【前橋地方気象台】 台風の状況、降雨量予測</p> <p>【高崎河川国道事務所】 水位予測、リスクラインの状況</p> <p>【群馬県(危機管理課・河川課)】 防災体制、県管理河川等の状況</p> <p>【群馬県高崎土木事務所】 防災体制等の状況</p> <p>【市町(高崎市、玉村町)】 水防団、許可工作物、樋管操作、河川巡視、避難所の開設、防災体制等に関する状況</p> <p>【下久保ダム管理所】 今後の見込み(防災体制、洪水調節等)</p> <p>【JR東日本、上信電鉄(事務局が代読)】 計画運休の状況</p>

■主な結果・意見

- ・音声トラブルにより発言できない機関やアカウント名が変更できていない機関があった。
- ・第2段階の会議は、30分を超えてしまう可能性がある。
- ・最新の雨量や河川水位などの情報を提供するために、ホームページ等を画面共有し、内容を解説することも考えられる。
- ・流域雨量指数の予測値の説明もあるといい。 など

令和5年度の「Webを活用したホットライン」の取組について

○「Webを活用したホットライン訓練に関する意見交換会」の概要・結果について(1/2)

■開催概要

- ・12/8(金)に開催された「Webを活用したホットライン訓練」の振り返りの場として開催。
- ・訓練当日の課題や、訓練に関するアンケート結果等を踏まえて整理した議題について意見交換を実施。

■日時

令和5年12月20日(水)10:00～11:10

■議事

(1) 令和5年度(第1回)Webを活用したホットライン訓練結果について

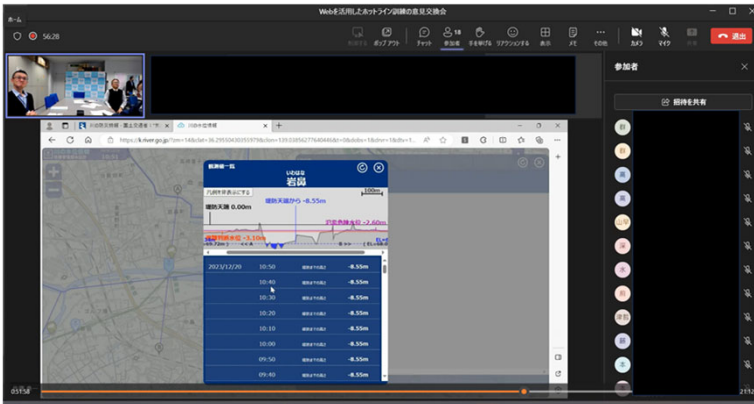
- ・開催概要、参加機関、主な意見・課題等の報告

(2) 訓練に関するアンケート結果について

- ・アンケート結果の報告

(3) 意見交換

- ・訓練結果及びアンケート結果を踏まえた意見交換



意見交換会の様子

■対象機関

前橋地方気象台	藤岡市 総務部 地域安全課	東日本旅客鉄道株式会社
熊谷地方気象台	玉村町 環境安全課	上信電鉄株式会社
下久保ダム管理所	神川町 防災環境課	伊勢崎市 総務部 安心安全課
群馬県 県土整備部 河川課	上里町 暮らし安全課	本庄市 市民生活部 危機管理課
群馬県 総務部 危機管理課	群馬県 高崎土木事務所	本庄市 都市整備部 道路管理課
埼玉県 県土整備部 河川砂防課	群馬県 藤岡土木事務所	深谷市 総務部 総務防災課
埼玉県 危機管理防災部 災害対策課	群馬県 伊勢崎土木事務所	深谷市 都市整備部 道路河川課
高崎市 総務部 防災安全課	埼玉県 本庄県土整備事務所	高崎河川国道事務所
高崎市 建設部 土木課		

○「Webを活用したホットライン訓練に関する意見交換会」の概要・結果について(2/2)

■ 主な議題・課題及び協議結果を踏まえた今後の方針・改善策

主な議題・課題	協議結果を踏まえた今後の方針・改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・出水時にWeb会議を接続したままにしておくことの可能性について ・Web会議方式による第1ホットライン（首長間）の可能性について 	<ul style="list-style-type: none"> ○Webを活用したホットラインは、予め設定した条件に達した際に短時間で情報共有することが目的であるため、Web会議を接続した状態は維持しない方針とする。 ※今後の課題：第1ホットライン（首長間）のWeb会議方式の可能性は、引き続き協議していく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・チャット機能を用いたURLによるファイル共有について 	<ul style="list-style-type: none"> ○チャット機能を利用したファイルの共有は、Web会議参加前のチャットの閲覧が不可能であることや、欠席者への共有ができないため、実施しない（運用方針（案）のとおり、メールでの共有を原則とする）。
<ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイム性の高い情報の共有について 	<ul style="list-style-type: none"> ○リアルタイム性の高い情報を共有するために、可能な範囲でホームページ等の情報を画面共有し、内容の解説を行う。（運用方針（案）へ反映する） ※今後の課題：機器の操作の熟度、説明の段取り等を訓練していく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有項目への「流域雨量指数の予測値」の追加について 	<ul style="list-style-type: none"> ○気象台からの情報共有項目として追加する（気象台の判断により情報を提供）。（運用方針（案）へ反映する） ※今後の課題：「流域雨量指数の予測値」が関係機関に浸透していくように周知を図っていく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・各機関（特に市町）が求める情報について 	<ul style="list-style-type: none"> ○各市町における避難情報の発令判断の材料となる情報（降雨・台風等の予想、河川の水位予測、ダム操作等）を積極的に共有していく。 ○過去の実績等も取り入れた情報発信を行う。



令和5年度の訓練結果や意見交換会結果等を踏まえて
「Webを活用したホットライン運用方針(案)」を更新

■ 令和6年度の予定

- ・令和5年度の取組成果等を踏まえて、令和6年度の出水期におけるWebを活用したホットラインの円滑な運用を図る。
- ・リアルタイム性の高い情報の共有を行うための機器操作の熟度、説明の段取り等を訓練していく。
- ・「Webを活用したホットライン運用方針(案)」の内容をもとに、継続的に訓練を重ね、運用方針を更新していく。